

シニアSOHO東京 「食品安全委員会」の足跡

第100回「食品安全委員会」

2019年3月12日(火)

(於)日比谷中日ビル シーボニアメンズクラブ

本日のスケジュール

第1部 15:00～16:15 「食品安全委員会」

1. 「SST食品安全委員会」の足跡
2. 講演 : 「HACCP法制化に伴う最近の行政の動き」
東京都福祉保健局 健康安全部 食品監視課
課長代理 倉持 大輔 様
3. 質疑応答・意見交換

(休憩 16:15～16:30)

第2部 16:30～18:30 「懇親会」

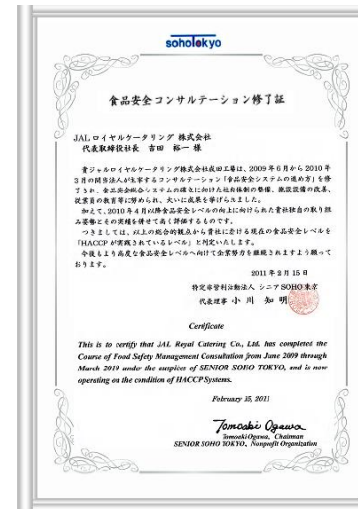
「食品安全委員会」の発足

- 2007年8月 第1回委員会開催(委員5名)
- 対象事業分野
 1. 研修事業(セミナー 教育)
 2. 監査事業(評価 診断)
 3. コンサルティング事業
- 対象を中小企業に限った上記3分野を確認

コンサルテーション開始

最初のコンサル先は、JALロイヤルケータリング(株)(JRC)

- 機内食業界は、25年程前から「日本フライトケータリング協会」として HACCP に着目していた
- JRC社の「食品安全総合システムの構築」の推進支援として2009年3月～2010年3月の間、コンサルテーション(現状診断からHACCP活動の展開迄)実施



「中小規模食品事業者のための 食品安全ガイドブック」

- ・2011年1月1日、第1版・第1刷を発行
委員会編著、医学博士 中原英臣 監修、100冊発行
- ・主たる内容
食品関連事業者にとって、最小限必要と考えられる
「食の安全・安心」についての基礎知識、関連情報
- ・発行目的
 1. SST食品安全委員会の対外活動資料
 2. 委員会メンバーの学習基礎教材

写真ガイドブック

中小規模食品事業者のための 食品安全ガイドブック



NPO 法人 シニア SOHO 東京「食品安全委員会」編著
医学博士 中原英臣 監修

目次

はじめに	1
1. 食品関連事業者の志向する目標	3
2. 食品業界	3
3. 食品衛生行政機関	4
4. 食品衛生関係法令	6
5. 食中毒	9
6. 食品製造現場の衛生管理	11
7. 食品衛生の品質管理	12
8. 食品の安全と農業・食品添加物	13
9. HACCPシステムによる衛生管理	14
10. ISO22000	16
11. トレーサビリティ	17
12. ITシステムの活用	17
13. 食品事故と企業責任	18
14. コンプライアンスとCSR	20
15. 「顧客満足」経営	22
16. 食品安全への取り組み	24
(A社の取り組み事例紹介)	
参考文献	26
参考サイト	26
添付資料	
1. 「ISO22000」について	
2. 「顧客満足」経営の概論	
監修者紹介	巻末

東京都自主管理認証制度に着目

- 「自主衛生管理」の重要性
2003年の「食品衛生法」改正を機に、各地方自治体で特色ある自主管理認証制度を導入する動きが活発化
- 「都認証制度」普及のお手伝い → セミナー開始
2012年8月 第1回「食品安全セミナー」を開催して以来
2018年8月迄9回開催 毎回 東京都 食品監視課に講演をご担当頂いている
当初は10名程度の参加者も、最近は50名を超える状況

セミナー等の写真

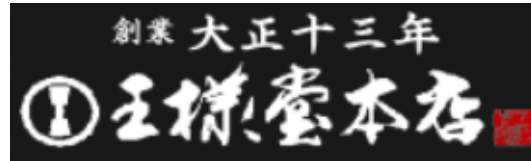
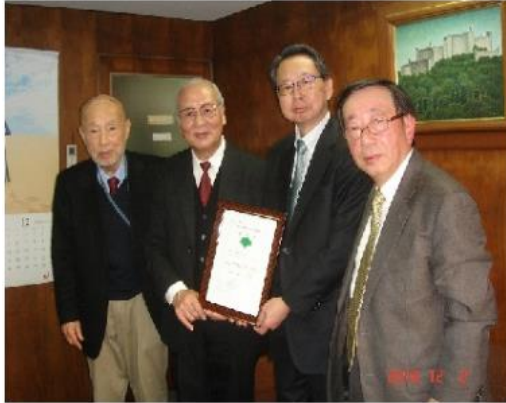


HACCP対応 コンサルテーション

- HACCP 制度化の動き → 2018年6月法制化
- 東京都認証制度に、一層注目が集中
- 「食品安全セミナー」 → 「東京都認証制度」

- 東京都認証制度への取り組み
 - 2015年 : 「王様製菓 株式会社」認証取得
 - 2016年 : 「(株)会社 セイシン企業」認証取得
 - 2018年 : 新たに2社スタート 現在推進中
 - 2019年内に完了見込み

認証取得



Better Seishin, More Active
 株式会社 セイシン企業
 SEISHIN ENTERPRISE CO.,LTD.

「食品安全委員会」現状

- 陣容 : 現役委員14名
- 経歴 : 食品関連企業OB 経営コンサルタント 国家公務員
化学薬品企業OB QMS等 各種審査員
各種メーカーOB 等、多彩
- ご協力頂いている皆様
 1. 東京都福祉保健局健康安全部食品監視課
 2. 公益社団法人集団給食協会
 3. 日本ホテル業協会
 4. 日本フラインクケータリング協会
 5. (株)ハセツパー技研
 6. 国際衛生(株)
 7. エコラボ合同会社
 8. シーバイエス(株)

「食品安全委員会」の課題と今後

1. 委員会の体制強化と実力の蓄積
2. 関係先との協働関係強化
3. 活動範囲の拡大 等々 課題は山積

『食品安全は終わりのない永遠の目標』

皆様のご協力を頂戴しながら、当初設定した事業分野で地道に且つ着実に活動を継続し、SSTとしてささやかでも社会に貢献することを目指したい

以上